

“ふるさとちば”のための政策推進を

健二郎

# 佐藤けんじろう県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411



## 英語教育の充実を!!

### 県内中高校生の英語力

### 全国1位を目標に



2月定例県議会予算委員会で質問する佐藤健二郎委員

佐藤健二郎県議(習志野市選出、1期)は昨年の12月定例県議会で登壇し、一般質問を行ったのに続いて、今年の2月定例県議会では予算委員会で県の施策について質問しました。次代を担う青少年のために、教育環境の向上に力を注いでいる佐藤県議は、いずれの質問でも外国語教育を取り上げて英語力向上のための課題や施策を聞き、千葉県の中高校生の英語力全国1位を実現して欲しいと要望しました。佐藤議員の質疑と県の答弁を紹介します。

佐藤議員 世界への玄関口でもある千葉県は、外国語教育でも日本の最先端であるべきだ。グローバル社会で、自ら中で活躍する人材の育成に必要なのは英語教育の充実が欠かせない。全世界の人口約7億

いて、生徒が「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を活用し、自分の気持ちや考えを伝え合う活動等が全国と比べて少ない状況にあります。更に、教員に求められている英語力として英検準一級程度を目標にしていますが、その取得率は全国平均を下回った状況にあり、教員の英語力向上及び授業改善が課題と認識しております。

### ICT活用して

### 英語授業を改善

佐藤議員 その課題に対してどのように取り組むのか。教育長 県教育委員会では、目標とする英語力に達していない教員を対象にして、大学の講師による専門的な研修、資格取得費用の補助などをして教員の英語力向上を努めます。

また、英語の授業で生徒が自分の考えを英語で表現したり、コミュニケーションする場面を増やすため、指導に優れた教員の授業プランをホームページで公開しており、各学校でこれらを活用した授業改善が進むよう促しております。

更に、オンラインでのコミュニケーションや端末を用いた発音練習など、ICTを活用した授業を推進して参ります。佐藤議員 令和4年度はどう取り組むのか。

教育長 県が独自に作成した「話す力」「書く力」を引き出す教材を積極的に授業に取り入れるとともに、AI英会話ソフトを導入・活用する学校数を拡充します。佐藤議員 AI英会話ソフト以外に、ICTを活用した取り組みはどうか。学習指導課長 国は、全ての小・中学校にデジタル教科書を導入する事としているため、県教育委員会では音声再生機能等を、教員が授業で効果的に活用できるように実践事例集を作成中です。

要望

佐藤議員 国が毎年12月に実施している「英語教育実施状況調査」は、例年5月頃に発表される。毎年各県の英語力が示される。福井県は中学生も高校生も教員も全国1位。なぜ、福井県はトップで居続けられるのか。その手法を参考に、応用していかねばならない。叡智を結集させ、千葉県の英語力が全国1位になるよう、本気で取り組んでいただきたい。

### 令和3年度英語教育実施状況調査

◆千葉県の中高生の英語力	◆英語科教員の英語力
高校3年生 全国36位	高校 全国42位
中学3年生 全国9位	中学 全国30位

**佐藤けんじろう 県議事務所**

〒275-0001 習志野市東習志野3-5-1  
 TEL.047-475-2001 URL: http://www.satokenjiro.com  
 FAX.047-475-2002

佐藤けんじろう

○経歴○

- ◆1976年1月東習志野生まれ 46歳
- ◆東習志野小・市立第四中 県立八千代東高・千葉工業大学卒
- ◆清水建設(株)元社員
- ◆参議院議員元秘書
- ◆千葉県議会議員(現在1期目)
- ◆資格: 宅建士・一級建築施工管理士補 防災士・TOEIC
- ◆ちば自民党政務調査会審議委員
- ◆千葉県総合企画企業常任委員会委員
- ◆千葉県国土利用計画審議会審議委員
- ◆自民党習志野市第一支部支部長
- ◆千葉県テニス協会顧問
- ◆習志野市サッカー協会顧問
- ◆習志野市在住 妻と息子の3人暮らし

12月定例県議会で登壇し、一般質問を行う佐藤健二郎県議

# 《仮称》千葉県総合救急災害医療センター



## 救急医療最後の砦 感染症対策強化へ

### 令和5年度開所予定

佐藤議員（仮称）千葉県総合救急災害医療センターは千葉市美浜区と習志野市のちようど市境、美浜区側に立地し、昨年より着工、令和5年度開所に向け整備が進められている。

県民の命と健康を守るために感染症への対応が求められる。

千葉県総合救急災害医療センターは、感染症への対応について、どのような役割を担っていくのか。また、感染症への対応として、どのような施設整備を行っているのか。

病院局長 今回の新型コロナウイルス感染症への対応として、高度救命救急を担う県救急医療センターではECMOや人工呼吸器の装着が必要な重症患者を受け入れ、精神科救急を担う県精神科医療センターでは精神疾患を有する患者を受け入れるなど、それぞれの機能に

入れるなど、それぞれの機能に合った役割を担っており、新病院においても、引き続き、これらの機能に基づき患者の受け入れなどを行っていきたくと考えております。

このため、新病院の整備に当たっては、今回の対応を踏まえ、当初の設計を一部見直し、12床設置する集中治療室のすべての個室化や、陰圧室の設置など、感染症対策の充実を図っていくところだ。

佐藤議員（仮称）千葉県総合救急災害医療センターをはじめとする県立病院において、感染症に円滑に対応できるように、施設・設備や人材の、より一層の充実を図っていただきたい。

### 習志野市芝園地区 地下共同溝の有効活用を

佐藤議員 習志野市芝園地区の地下共同溝の有効活用を図るよう検討すべきと考えらるかどうか。

企業局長 芝園地区の地下共同溝は、先端・成長産業の本社機能や研究開発機能等の導入に向け、電線・電話線・水道管等のライフラインの安定的な供給確保都市景観上の配慮等を目的に、平成7年度に完成しました。

社会情勢の変化で当面の利用が見込めなくなったことから、様々な業種の事業化の可能性を検討した結果、植物工場として利用することとし、公募により事業者を決定しました。平成29年度から工場が稼働しており、今後は施設規模の拡大について事業者と協議するなど、施設の有効活用について検討を進めてまいります。

引き続き事業者が安定して生産を行い、行く行くは黒字経営ができるよう、しっかりとした後方支援をお願いしたい。

一方、地下空間の使われていない残りの2440坪はサッカーコートなどと同様の広大な面積である。維持管理だけでも、かなりの費用を費やしているといっている。

消防法の面積制限や、地下への出入り口など、色々な制限がある中で、借り手を探すのは難しい事だと思ふ。また、行政として費用対効果も考えねばならない。

とはいえ、時代は流れ変化している。新たな需要が生まれているかもしれない。今一度、知恵を絞って有効活用の検討をするよう要望する。

## 特別支援学校中高等部 令和9年度に開設予定

### 旧花見川第二中学校を活用

佐藤議員 特別支援学校の過密状況は全国的にも課題となっているが、私の地元習志野市でも特別支援学校の在籍者数は増加している。

習志野市の子供たちが通学している習志野市、八千代市、船橋市の県立特別支

援学校を視察したが、一つの教室を二つの学級で使用し、教室不足に悩んでいる学校があった。また、車椅子の取り回し、すれ違いも苦労するような廊下、雨漏りしたまま使い続けている教室など、多くの課題を感じた。まさに、特別支援学

校の教育環境の向上は急務である。

今回、令和4年度当初予算案に「旧千葉市立花見川第二中学校」を活用した新設校設置に伴う基本設計等の経費が計上となった。ありがとうございます。新設校開校により、習志野市の

子供たちの教育環境はどのように改善するのか。

特別支援教育課長 教室にゆとりが生まれるとともに、習志野市の多くの生徒にとつて、通学時間が短縮される見込みです。

佐藤議員 「特別支援学校設置基準」の概要はどうか。

特別支援教育課長 「特別支援学校設置基準」は、教育環境を改善する観点から公布されたものであり、特別支援学校の施設及び設備等について、必要な最低の基準などを示したものです。

佐藤議員 既存校における「特別支援学校設置基準」への対応はどうか。

また今後も児童生徒数の増加が見込まれるため、子供たちが居住地により近い学校で、専門的な教育を受けられるよう、教育環境の改善に向けた取組を、引き続き進めていただきたい。

佐藤議員 習志野市の子供たちが通う既存の特別支援学校について、早急に対応していただきたい。